

2022

3

長崎県

長崎県の“土木”のいまがわかります NO.

46

# DOVOC通信 ながさき

特集  
1

『河川監視カメラ』による防災情報の提供

特集  
2

長崎開港シンポジウム500ゴーマルマル

デミー博士の「ラブ♡ラブ♡DOVOC」

DOVOCインフォメーション



撮影：長崎県立大村高校2年 道頭 依央 みちがしら いろ

普段は見ることのない現場を生で見て、こんなに大きな物を人の手でつくっているのだと実感し、ほんとうにかっこいい仕事だと思いました。素敵な姿をありがとうございました！



「いよいよ500周年の幕が開く……450周年をふりかえり、県民・市民の想いを込めた50年後の「みなとまち長崎の未来像」を発表し、考え、スタートを切ります。

未来へつながる、ヨンゴ-マル!



長崎開港  
450th  
NAGASAKI PORT



## 長崎開港シンポジウム500 ゴーマルマル -長崎開港450周年記念事業 未来へのスタート-

### 日時

2022年3月21日(月・祝) 13時30分~17時

### 場所

出島メッセ長崎 コンベンションホール

### プログラム

- ・記念映像上映
- ・「みなとまち長崎の未来像」の発表
- ・長崎の若者の発表(小学生・中学生・高校生・大学生)
- ・パネルディスカッション
- ・活水中学校・高等学校吹奏楽部によるフィナーレ演奏



参加応募は締め切りでしたが  
当日はYouTubeで生配信します。  
詳しくは公式HPをチェック!!!

### 「みなとまち長崎の未来像」のこと

50年後の未来に向かって、県民・市民・関係機関などがチャレンジし、発展していくための夢を示した羅針盤となる未来像。アンケート調査から得られた意見をイラスト化します。

- たとえばこんな意見!
- \*夜景や歴史的資産等の保全
  - \*ドローンを活用した荷物運搬
  - \*浮島による新空間の創造
  - \*海のゴミ自動除去装置による環境保全
  - \*海中トンネルでの親水空間

集まった回答、なんと8,900件!

### 長崎開港450周年記念事業ライブラリー

2021年は「長崎開港450周年記念式典」にて、みなさまと一緒に長崎開港450周年をお祝いし、「長崎開港フェスタ450」にて長崎のまちの原点を感じることが出来ました。みなさまありがとうございました。今後とも「みなとまち長崎」をよろしくお祈りします!!!



初体験!  
高校生がキリトル  
土木ワールド



プロジェクトに協力してくださったのは、諫早高校写真部(顧問:小川尚先生)、大村高校写真部(顧問:高比良奈々先生、月川千恵子先生)、長崎東高校写真部(顧問:黒田佳孝先生)の3校。3校とも普通校です。

DOVOC(土木)最高!!みなさんこんにちは、デミー博士です。私は土木が好きすぎてダイナマイトを使った爆破の土木イベントに行ったり、土木現場の体当たりレポートをYouTubeで発信などをしています。そのため私のことを土木タレントと呼ぶ人もいます。笑 インターネットで「デミー博士」や「土木タレント」などと検索してみてください。私は今年度から本誌(7月、11月、3月発行)で「デミー博士」のラブラブ♡土木」を担当させていただきます。7月号、11月号、3月号は読みましたか?読んでいない方のために簡単に説明します。7月号「土木PRタレントデミー博士って何者?編」は、広報の大切さや必要性を学ぶきっかけを与えてくれた軍艦島研究、土木の道を志そうと思った高校時代のある出会い、土木YouTuberになったワケが掲載されています。また、11月号「(YouTube)連動企画」高校を卒業して建設業に就職した20歳の現場監督の「一日」は、現場での密着レポート記事が掲載されています。詳細は、インターネットで「DOVOC通信ながさき」と検索するとアーカイブが無料で見れますのでぜひチェックしてみてください。

普通校の生徒に撮影してもらったのは、ワケがあります。土木関係者は、土木が当たり前になっているため、その魅力や価値を忘れてしまっています。一方、生徒は土木はじめて見るので、その感覚で撮影してもらいたかったからです。はじめては、ワクワク・ドキドキします。そこには発見や驚きがたくさんあります。私にはじめての感覚に魅力の再発見があると思っています。

撮影現場は、国土交通省長崎河川国道事務所が長崎県諫早市に建設している高架橋とダム現場。撮影は、11月1日、11月13日、12月27日の3回行い、延べ50名の生徒が参加しました。撮影前、オンラインで使命と価値についての講義を行いました。力作ばかりで写真の選定が大変でした。なお、撮影した写真を用いて写真展の開催SNSの発信を行いますのでデミー博士のHPやTwitterをチェック!



## 大村高校



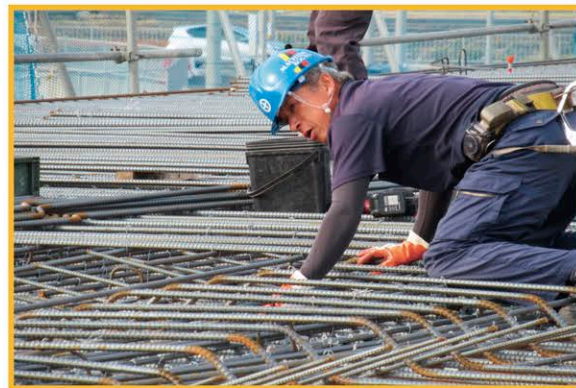
### 1年 高尾 麻紀 たかお まき

私は撮影会に参加するまで土木と耳にする自分とは遠く離れた人たちのお仕事のように感じていたが、実際に目にして、普段何気なく通っていた道や場所に多くの人の技術や温かさが関わっていることを知ることができた。新たな発見が多くあった素敵な現場でした！



### 1年 早川 美濤 はやかわ みれい

写真を通し初めて土木を見て、こんな風に橋がつけられるんだと思いました。そして土木で働く人達の素晴らしい技術で毎日安心して暮らせているんだと思い、感動しました。土木のおかげで今の日本があると気づいたのでもっとその魅力が伝わって欲しいなと思いました。



### 1年 宮園 理央 みやぞの りお

私が撮影していて驚いたのは、鉄筋が思っていたよりも使われていたこと、コンクリートを型に流して固めていたことです。小さな注意が大きな安全につながることに気づくことができました。土木を知れたことと人を撮る経験をさせてもらって、撮影会は私にとって、とても良い経験になりました。



### 1年 福井 沙雪 ふくい さゆき

土木で働く方々には世の中を知らないところで支えてくださり感謝しきれないです！建設現場に行かせていただき、普段の生活では全く分からないけど現場に行ったことで思っていたよりも重労働であることに驚きました。これからもお仕事大変だと思いますが頑張ってください！

## 長崎東高校



### 2年 堀川 咲希子 ほりかわ さきこ

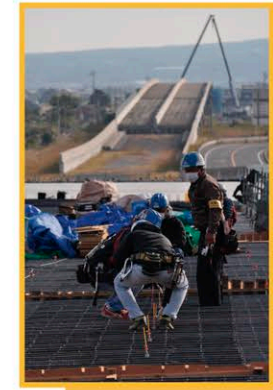
最初に思ったのは、作業員の方がとてもカッコいいということです。これまで、ダムは機械が自動でつくっているのかなと思っていましたが、人が機械を操作してつくっているのを見て驚いたと同時に、あんなに大きなものをつくる技術がすごいなと思いました。これからダムを見る際には、どうやってつくったかにも注目したいです！



### 1年 村山 昊太郎 むらやま こうたろう

撮影会にて、ブレイカーなどの重機を操作させて頂いた時、難しさに驚きました。今までは操作されている方を見て、動きをもっと早くできないのかなと思っていましたが、いざ乗ると全く思うように動かさず、左右のレバーを少し動かすだけでいっぱいになってしまいました。現場で働く方の慣れた手つきでの操作はとてもカッコよかったです。

## 諫早高校



### 2年 鈴木 美葉 すずき みよう

工事現場は普段行くことも撮影することもないのでとても新鮮だったし、参加する機会をいただけて嬉しかったです。私が一番驚いたことは、工事のために自然な川の流れを変え、新たに川をつくっていたことです。水源は同じなのに、元の流れは綺麗で、もうひとつは水が濁っており、人間が自然に手を加えることの影響を目の当たりにしました。ありがとうございました。



### 2年 堀之内 優香 ほりのうち ゆうか

私は、普段工事現場の写真を撮ることがないので被写体によって写真の雰囲気を変えることで、経験値が上がった気がします。私たちは、立ち入り禁止のため工事現場を見ることができないので、あんなに大変な仕事だと知りませんでした。カッコよかったです。貴重な体験ができて良かったです。ダムが完成したら見に行きます。ありがとうございました。



アンケート回答は  
コチラから

ロゴの完成を記念して、ステッカーを製作しました。今回は読者の中からアンケートに答えていただいた方の中から抽選で50名様にプレゼントしちゃいます。ステッカーの大きさは名刺サイズ(55mm×91mm)におさまる大きさです。雨や太陽の光に比較的強い素材でつくられているので、ヘルメット、スマートフォン、自家用車などに貼り付け可能です。惜しくも抽選でゲットできなかった方へ、ステッカーをゲットできる裏技をお教えします。デミ博士を土木現場や街中で見かけたら「デミさん、ラブラブドボク」と勇気を出して言っていたらとプレゼントしちゃいます。



ラブラブDOVOC  
ステッカー

ステッカーのプレゼント

本誌の2021年7月号から突如として現れたロゴに気付いた人はいますか？当コーナーのファン拡大や本誌の認知度向上を目的として作成しました。ここではロゴの誕生秘話とデザインに込めた意味を少しだけ紹介します。ロゴは、本誌の編集会議で誕生しました。(いつものように)私の土木愛に溢れるトークに長崎県の担当者さんが「デミさんのその思いを形(ロゴ)にしたらどうですか？」と提案を頂いたことがきっかけでした。「愛」をテーマにデザイナーにお願いして出来上がった案を元にSNSやヒヤリングでアンケートを5回以上重ねて完成しました。読者のみなさんや土木が大好きなみなさんと作りあげたロゴとなっています。さて、ロゴに込めた意味を少しだけ紹介します。

- トレーラーに満載した土木愛を届けたいという思いを表現
- 荷物の届きは出島をイメージし長崎らしさを表現
- タイヤ内のアルファベットは、長崎のNと土木のD(※私はデミのDだと思ひこんでいます。笑)
- みなさんと作りあげたロゴを活用して長崎の土木を盛り上げて行く仕掛けをつくっていきますので楽しみに！
- このロゴの活用は土木を盛り上げるために利用されるなら自由に使えます。(例えば工事看板)活用された企画課までお問い合わせください。

ラブラブDOVOC  
のロゴが完成!



## 都市計画道路池田沖田線が全線開通します。

都市計画道路池田沖田線（竹松工区）が、令和4年3月末に完成し、全線通行できるようになります。  
都市計画道路池田沖田線は、大村市内を南北に縦断する国道34号のバイパス機能を有し、全線開通により、中心市街地の交通渋滞の緩和と地域の利便性向上が期待されます。



## 西九州新幹線の車両が輸送されました！

令和4年1月6日から11日にかけて、西九州新幹線で使用する最新の車両N700S「かもめ」の最初の1編成(6両)が、製作された山口県下松市にある日立製作所笠戸事業所から川棚港まで海上輸送され、同港で陸揚げされたのち、大村市竹松町で建設中の大村車両基地へ陸上輸送されました。  
陸上輸送の際は、深夜にもかかわらず川棚港や沿道に多くの人が集まり、トレーラーに載せられた車両が道路上を走るといふ、めったに見ることのできない様子を見取りました。  
なかでも交差点では、車両が反対車線にはみ出しながら曲がる迫力あるシーンを見ようと特に人が集まり、カメラなどで撮影する人も多くいらっしゃいました。  
今後も引き続き、令和4年9月23日の開業に向けての準備が進められることとなっています。

※輸送状況の詳細は、こちらのQRコードからご覧ください。



川棚港で陸揚げされた N700S 「かもめ」



交差点を曲がる様子（大村市植松町）

## 令和4年4月1日に改正都市計画法が施行されます。

令和4年4月1日に改正都市計画法（開発許可制度）が施行されます。

- ①災害危険区域等では、非自己用の開発に加え、自己業務用の許可が制限を受けます。
  - ②市街化調整区域の災害危険区域等にある建築物について、同じ都市圏にある災害危険区域等以外の市街化調整区域に移転を認める許可が新設されます。
  - ③市街化調整区域内の許可で50戸連たんや分家住宅など条例で許可するものについて災害危険区域や浸水想定区域などが制限を受けます。
- 詳しくは、県都市政策課 開発許可のホームページをご確認ください。

「DOVOC通信ながさき」では、読者の皆様からのご質問・ご感想をお待ちしています。

宛先◎〒850-8570 長崎市尾上町 3-1 長崎県土木部建設企画課 ☎095-894-3021 FAX095-894-3461 ✉s08080@pref.nagasaki.lg.jp